

# 海への理解と関心が深まりました

## 8/1 マリンフェスタin西条

国土交通省では7月を海の月間とし、全国で各種イベントを展開。西条港でも、市とマリンスポーツ財団が「マリンフェスタin西条」を開催しました。延べ800人近い来場者は、今治海上保安部の巡視艇「せとぎり」への体験乗船や、水上オートバイの試乗などで、海と親しむ1日を過ごしていました。



巡視艇の体験乗船は好評を博しました



海と触れ合った夏の日

## きれいに咲いたよ 神戸「ひまわりばあく」



神戸小学校の児童によって種から育てられたひまわりが、地域の婦人会や老人会、農協、西条農業高校の生徒ら、多くの関係者の協力を得て、見事に大輪の花を咲かせました。夏の日差しのもと、満開のひまわり畑では、子どもたちが押し花や草木染めに挑戦したり一面に広がる景色を楽しんだりしていました。

## 7/19 研修の船



ランデブーに大興奮!



救命胴衣の着用にし緊張

真っ青に晴れ渡った好天のもと、市内の小中学生と保護者など約850人が参加した研修の船。オレンジフェリーの岸壁から出航した船内では、操舵室の見学や救命胴衣の着用実習、四国運輸局の出前講座などが行われました。また、海上保安部の巡視艇やヘリコプターとの並走時には、みんなデッキに出て大きく手を振っていました。

## より実践的な防災力を身につけるために



一泊二日の防災キャンプが開始



日焼けした各校の代表が勢ぞろいした防災サミット



日本記録級の雨の激しさにはただ耐えるだけでした



自分の抱負などを発表

市内25小学校の6年生の代表60人が、7月29日には市民会館で子ども防災サミットに、また8月11日からは多賀小学校での1泊2日の子ども防災キャンプに参加しました。さまざまな体験を通じて災害の恐ろしさや未然に防ぐことの大切さを学ぶとともに、防災を切り口に確かな社会性とたくましさを身に付ける機会となりました。

## 野球を通じて青少年の健全育成を

プロ野球で活躍した佐野慈紀氏・村上隆行氏・橋本清氏や、ヤンキース時代に松井秀喜選手のトレーナーを務めた有間義和氏らを講師に迎えて、8月1日に開催した硬式野球教室には、小中学生約100人が参加しました。



真剣な表情で指導に聞き入る参加者

ウォーミングアップから、バッティング・ピッチング・フィールディングの高いレベルの技術にまで及ぶ指導を受けた参加者の顔は、それぞれの目標を見つけたかのように輝いていました。(関連記事24ページ)



将来の夢に向かってダッシュ!

## ふるさとの清流に息づく命を観察



加茂川の水は今年もキレイかな?



捕まえた生き物を種類別に観察



暑くても川の水はひんやりして気持ちイーツ!

昨年は、前日の雨による増水で中止となった「水と親しむ青空教室」を、今年は晴天のもと7月29日に加茂川で開催しました。この事業は、川にすむ生き物の種類からその河川の水質を判定する環境省の全国水生生物調査(全国で約8万人が参加)に登録しており、加茂川は今年も水質階級1のきれいな水と判定されました。